

組合員を後押しする積極的な「人への投資」を求める特別決議

－ 新たな一步を踏み出し、確かな未来につなげよう －

生保産業そして全ての組合員は今、大きな環境変化の中にある。生保産業や営業職員体制のさらなる発展に向けては、この環境変化に組合員一人ひとりが柔軟に対応し、一層役割発揮していくことが欠かせない。

一方、足元では、営業職員の多くが収入減から脱することができておらず、営業職員体制そのものが揺らぎかねない状況にある。組合員の生活や活動も、昨今の急激な物価上昇によって大きな影響を受けている。

私たち生保労連・各組合は、こうした環境変化に直面している組合員を守り、確かな未来につなげていくため、組合員が安心してくらし、働き続けられる環境整備を一層はかるとともに、組合員の役割発揮や新たな一步を積極的に後押ししていく必要がある。また、組合員の期待や社会的要請に応え、労働組合の存在感を発揮していくことが強く求められている。

このような認識の下、私たちは本日、2023 春闘・春季方針を決定した。今春闘は、生保産業や組合員の将来に関わる重要な春闘である。各経営は、私たちの切なる要求を真摯に受け止め、賃金関係の取組みをはじめとする「人への投資」を積極的に進めるべきである。

「人への投資」は、組合員の生活の安定・向上につながることはもとより、組合員のモチベーション・働きがいや、能力・パフォーマンス、生保産業で働くことの魅力を一層高める。それらは産業全体の生産性向上、ひいては生保産業のさらなる発展へとつながる。

私たちの踏み出す新たな一步が、生保産業や組合員にとっての確かな未来につながることを確信し、要求実現に向けて全力で取り組む。

以上、決議する。

2023年1月17日
全国生命保険労働組合連合会
第56回中央委員会